

Monthly Book Medical Rehabilitation No.212正誤表

特集／摂食嚥下障害リハビリテーションABC

『Monthly Book Medical Rehabilitation No.212 特集／摂食嚥下障害リハビリテーションABC』（2017年7月増刊号）掲載のご論文「咽頭筋の収縮と食道入口部の弛緩」（p.25-32）におきまして、下記の一文中に誤りがありました。

著者の先生、ならびにご関係の皆様にお詫びし、訂正申し上げます。

2017年8月18日 全日本病院出版会

p. 25 右段4～8行目

誤) また、食塊にかかる圧が含まれると思われるmid bolus pressureは、大気圧下におちこむ口側UES部を除いて口側から尾側にかけて食塊にかかる圧は徐々に小さくなる傾向にあることが推測された²⁾。

正) また、食塊にかかる圧が含まれると思われるmid bolus pressureは、大気圧下におちこむ口側UES部を除いて、舌根部、下咽頭、尾側食道括約筋部、頭側食道括約筋部の順に圧が低くなっており、口側から尾側にかけて食塊にかかる圧は徐々に小さくなる傾向にあった²⁾。